

8	(地独) 東京都健康長寿医療センター	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 年度計画の実施 (平成31年度)
事業概要	平成30年度から平成34年度までの5年間を計画期間とする中期計画を達成するため、平成31年度において取り組むべき事項を年度計画として定め、高齢者のための高度専門医療及び研究の充実・発展並びに経営基盤の改善について着実に実施する。	
これまでの経過	<p>平成21年4月：法人を設立し地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター中期計画に基づいた業務運営を開始</p> <p>平成30年3月：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター第三期中期計画認可決定</p> <p>平成30年6月：第二期中期目標期間（平成25～29年度）業務実績等報告書及び平成29年度財務諸表及び業務実績等報告書を都へ提出</p> <p>平成31年3月：平成31年度計画を都へ提出</p>	
現在の進行状況	<p><b>【センター全体】</b> 令和元年5月：都民を対象とした「第154回老年学・老年医学会公開講座」を開催 令和元年6月：平成30年度財務諸表及び業務実績等報告書を都へ提出</p> <p><b>【病院部門】</b> 平成31年4月～令和元年9月：平均在院日数12.5日、病床稼働率81.9%で推移 (前年同期：平均在院日数13.2日、病床稼働率87.9%)</p> <p><b>【研究部門】</b> 平成31年4月：「平成31年度 科学技術週間参加行事」にて講演会等を開催 平成31年4月：「一人暮らしによる健康リスクは、人のつながりにより緩和されることを発見」をプレス発表 平成31年4月：「カルシトニン受容体の発現低下は加齢性の骨格筋幹細胞減少に寄与することを発見」をプレス発表 令和元年7月：「咽頭への刺激で甲状腺からのホルモン分泌が増えることを発見」をプレス発表 令和元年8月：「乳酸菌ラクトバチルスカゼイシロタ株を含む乳製品の高頻度の摂取と適度な運動の組み合わせが高齢者の便秘リスクの低減に効果的であることを発見」をプレス発表 令和元年9月：「“適度な運動タンパク質”を見つけた！運動が身体の炎症・老化を抑制する分子メカニズムを発見！！健康のために1日10分、骨に衝撃を与えよう！！」をプレス発表</p>	
今後の見通し	<p>高齢者のための高度専門医療及び研究を行い、都における高齢者医療並びに研究拠点としての役割を引き続き果たしていく。また、病院部門、研究部門、経営部門の連携を一層強め、第三期中期計画及び年度計画に基づき、着実に事業を実施する。</p> <p>病院部門では職種の枠を超えたチーム医療の推進、医療連携の一層の強化に努め、地域全体で継続的な一貫性のある医療を目指していく。</p> <p>研究部門は高齢者の健康維持や老化・老年学の予防法・診断法の開発等に関して、老化のメカニズムや老化制御等の基礎的研究を実施するとともに、高齢者の健康長寿と福祉に関して、疫学研究や社会調査等による社会科学的研究を実施する。</p>	
問い合わせ先	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 経営企画局 事務部 経営企画課	電話 03-3964-1141